歴史新聞をつくろう

題材(テーマ)の例

◎　自分が興味のもてる１つの時代にしぼって、深く調べてみる方法。

たとえば、原始時代・古墳時代・飛鳥時代・奈良時代・平安時代・鎌倉時代・室町時代・戦国時代・江戸時代・明治時代・大正時代・昭和時代などの時代区分の１つを取り上げてもかまいません。また、それらの１時代区分の中で、「政治」・「経済」・「民衆の生活」・「文化」などの分野の中から１つだけを調べてもかまいません。あるいは、歴史的な人物について調べてもよいでしょう。

◎　１つの事柄の歴史、たとえば「建築物の歴史」や「食べ物の歴史」などを全時代を通して調べてみる方法。

もちろん、特定の時代の「建築」や「食べ物」でもＯＫです。

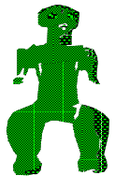
◎　１つの歴史的な事件だけを取り上る方法。

１つの歴史的な出来事をクローズアップするように調べてもかまいません。

◎　尼崎市や兵庫県の歴史など、地方の歴史をまとめる方法。

以前、「いなか」に帰ったときに、その「いなか」の歴史資料館などに行って、その地方のことをまとめた人もいました（その人が撮影した写真入りの作品で、とてもすばらしいものでした）。

◎　１つの遺跡についての調査をして、調査報告する方法。

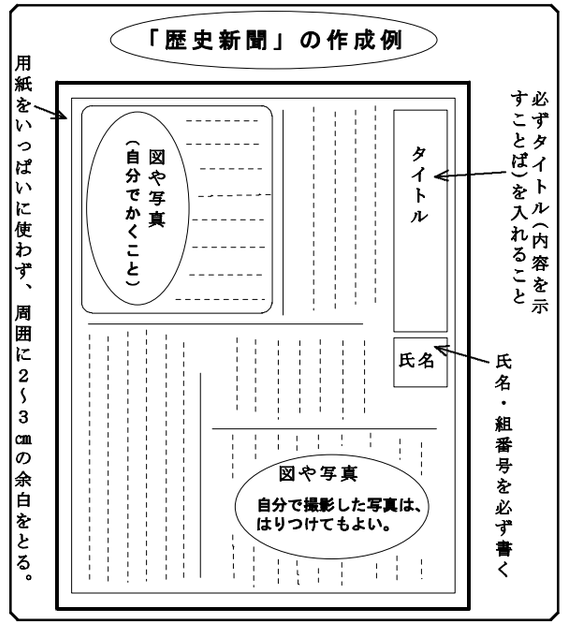


たとえば、若王寺遺跡や田能遺跡、あるいは武庫庄遺跡なども知名度の高い、市内の遺跡です。

◎　テレビの番組などで、歴史的な事件を特集することがあります。そのような番組の内容を要約して紹介してもかまいません。ただし、その場合必ず、放送日時・放送局・番組名・放送内容などを示して下さい。

◎　身近にお年寄りがいる場合、お年寄りから「昔のくらし」などについて聞いて、その話をまとめるのも、いい勉強になると思います。

◎　日本の歴史だけでなく、アジアの歴史やヨーロッパの歴史でもかまいません。特に、　アジアの国々と日本に関する歴史は、　学習しておくべきことが、たくさんあ　ります。



制限事項・その他

◎　手で書く場合は、「模造紙(もぞうし)」か、「４つ切り画用紙」を使って、１枚にまとめること。

◎　ワープロやパソコン等を使って、作品をまとめる場合は、「Ａ３用紙」２枚程度まで(ワープロの文字等を、紙に貼(は)り付けてはいけません)。

◎　「模造紙」を使用する場合は、１文字の大きさを２㎝角程度の大きさの文字を書くこと。あまり小さな文字を使わないこと（模造紙の場合は、「壁新聞」だと思ってください）。

◎　まとめることが大切です。「本のまるうつし」では、勉強になりません。自分の頭で考えて、まとめる作業をしたときに、理解することと覚(おぼ)えることが同時にできるようになります。

◎　本を読んで調べてもよいし、どこかの資料館や史跡をたずねて調べる方法でもいいと思います。ただし、本で調べた場合、著者名・書名・発行社・その内容(記事)が書かれているページまで、書いておいて下さい。資料館の場所・名前なども忘れずに。

◎　自分で撮影した写真などがあれば、撮影(さつえい)日時・撮影場所・撮影内容などをできるだけ具体的に記録して下さい。

◎　個人調査でも、グループ調査でもかまいません。グループ調査をした場合は、全員の名前を書き、記事ごとに担当者名をわかるようにして下さい。